

「話し合い」のさせ方

3年部会担当

◆ワークショップ2：プログラム◆

(1) 【体験】 フォトランゲージ	…10分
(2) 【講義】 社会科における「話し合い」活動 *実践事例の紹介を含む	…15分
(3) 【演習】 資料や体験をもとにした「話し合い」活動	…20分
(4) 【質疑応答】	…5分
(5) 【指導助言】 明星大学非常勤講師 井出良子先生	…20分

1 ワークショップの内容

(1) 【体験】 フォトランゲージ

…自己紹介&アイスブレイク

○1枚の写真やイラストなどを用い、それについて気づいたことや疑問に思ったことを出し合い、話し合う活動。開発教育・国際理解教育でも使われているが、社会科でも以前から広く実践されている。

例) **資料** 3年「店ではたらく人」 教科書に載っているスーパーマーケットの絵図

ねらい

- ・資料を読み取る力をつける。
- ・様々な見方・考え方があることを知る

発問例

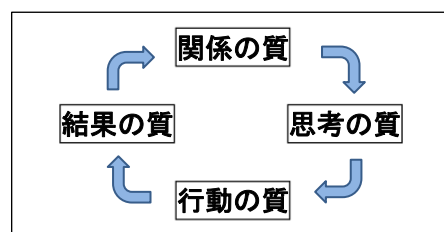
- ・気づいたこと、わかったことを10個以上出し合いなさい。
- ・「あれ？」と疑問に思ったことを出し合い、それについてみんなで話し合い、答えを予想しなさい。

〈実践上の注意〉・ブレインストーミングと同様、発言された意見は、絶対否定しない。

- ・子供の考えが出るよう、十分時間を取り、話し合わせる。

- ・グループの人数は3年生の場合、3（～4）人がよい。

*体験を通して感じたと思うが、人と人との関係ができていないと思考は深まらない。つまり、よい学級づくり(学び合える関係づくり)をすることが「話し合い」の質を高め、思考の質を高める。



〈参考：ダニエル・キム「組織の成功循環モデル」〉

(2) 【講義】 社会科における「話し合い」活動

①社会科における「話し合い」の意義

- ・社会認識（社会的な見方・考え方）を広げ、深めるため。

- ・思考力（考察する力）・判断力（構想する力）・表現力（説明・議論する力）を向上させるため。
- *「話し合い」は目的ではなく、手段。子供の思考を深めるためのツールである。
- *アクティブ・ラーニング（深い学び・対話的な学び・主体的な学び）に必要不可欠である。
- *社会科だけでなく、あらゆる教科・領域で「話し合い」を徹底する。

②どのようなことを話し合わせたらいいのか？《「話し合い」の目的・内容》

○何（どんなこと）を、いつ、話し合わせるか、が重要である。

- 例) **つかむ** ・資料に対し様々な意見を話し合い、教材に興味・関心をもたせる。
 ・資料に対し疑問をもたせ、学習問題を立てる。
- 調べる** ・学習問題の予想を話し合い、調べることを明確にする。
 ・互いに調べたことを発表し合い、情報交換する。
- まとめる** ・調べたことをもとに、様々な意見を話し合い、学習問題の答えを導く。
- ふかめる** ・今まで学習してきたことを活用し（話し合い）、考えを広げ、深める。

i) 単元を通しての社会科における「話し合い」活動

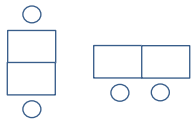
○〈参考〉小単元 3年「多摩市のようす」（12時間） ……池田豊一実践（多摩二小）より

段階	「話し合い」を促す資料と問い・発問の例	各段階における「話し合い」のポイント
つかむ (第1時)	資料 多摩市の地図、各地域の写真 問い 地図や写真から学習問題を考えよう。 発問 知っている、知らないところはどこですか？ 調べてみたいことは何ですか？ 子供 グループで話し合い、知っているところより知らないことが多いことに気付いた。 学習問題 多摩市にはどんなところがあり、どんな様子だろう	・「つかむ」段階では、資料をもとに自分の考えを出させ、それらを話し合わせることで、 <u>疑問をもたせ、予想を磨き合い、興味・関心を高める。</u>
調べる (第6時)	資料 多摩市の住宅・公園の分布地図、多摩ニュータウンの写真 問い 多摩市の住宅や公園の様子は、どのようになっているのだろう。 発問 どうして大きな団地の中にぽつぽつ公園があるのだろう？ 子供 すぐ遊べるようになど予想を出し合い、市の公園緑地課の人の話をPPで見え解決する。	・「調べる」段階では、調べる中でわかった <u>事実（社会的事象）や考え（社会的な見方・考え方）を情報交換し、学習問題の解決につなげる。</u> また、新たに生まれた疑問について、予想を出し合い、調べる意欲につなげる。
まとめる (第9時)	資料 副読本・ノート・自作のマインドマップ 問い 学習問題に対する自分の考えをまとめよう。 発問 自分で作ったマインドマップをもとに、多摩市の様子でわかったことを発表しなさい。 子供 友達の発言をもとに、自作のマインドマップを広げる（深める）子の姿が見られた。	・「まとめる」段階では、調べたことをもとに、 <u>学習問題に対する答えを出させる。様々な立場・考えを多角的に出させ、具体⇄抽象の往復思考を促す。</u>
ふかめる (第12時)	資料 グループ作成のお気に入りガイドマップ 問い 多摩市のお気に入りガイドマップを発表し、多摩市のよさを伝え合おう。	・「ふかめる」段階では、 <u>社会認識・社会参画をふかめるような課題（論題）を設定し、今まで学習</u>

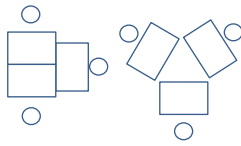
[発問]	自分で作ったマインドマップをもとに、多摩市の様子でわかったことを発表しなさい。	<u>してきた知識・考えを活用し、広げ、深めるようにする。</u>
[子供]	土地の様子・交通のようす・昔ある建物のようすなどのグループが発表し、簡単な質疑応答をする。その後、本単元で学んだことをノートに書き、発表する。多摩市を好きになった、多摩市に愛着をもった姿が見られた。	注) 3年社会科入門期なので、実際の授業では、本時は本小単元で「ふかめる」段階には位置付けなかった。

③どのように話し合わせたらいいのか？《「話し合い」の手段・方法》

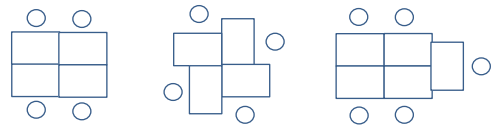
i) 「話し合い」の人数&形態



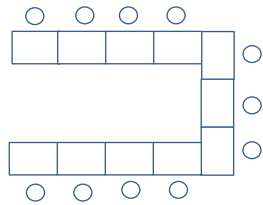
ペア学習 (2人)



トリオ学習 (3人)



グループ学習 (4~5人)



一斉学習 (学級全員)

*少人数のグループで話し合う際、

○付箋 ○携帯用ホワイトボード

などを用いると効果的である。

*人数や形態は様々あるが、重要なのは子供同士の横のつながり。それが「話し合う」こと。
相互指名、自由発言などは有効である。

ii) 「話し合い」の主な種類

- ・ブレインストーミング (フリートーク) 型 ……考えを自由に出し、思考を広げる。
- ・討論 (ディベート) 型 ……論題に対し、相対する意見を述べ合い、思考を深める。
- ・課題解決 (練り上げ) 型 ……課題を解決するために、様々な意見を出し合い、思考を深める。

iii) 「話し合い」をするための手立て 一話しやすくするために

(前提)・社会科だけでなく、あらゆる教科・領域で年間を通して「話し合い」を行う。

◆子供同士の横のつながりをつけるために…… (一斉学習の場合)

- 発問後、ノートに自分の考えを書かせる。
→自分の意見をもたせる。
- 同じ意見でいいから、3人は続けて言わせる。
→同じ意見でも異なる言い方が出る。それをほめ、認める。
- 次に異なる (反対) の意見を言わせる。同様に3人言わせる。
→反対意見の場合、討論にもちこむことができる。
- 友達の意見に対して、その友達の考えを予想して言わせる。
→「○○さんが□□と言いました。○○さんが□□と言ったわけ、わかる人いますか？」
- 教師ではなく、友達に意見を伝える「発言の型」を教える。
→「みなさん、これを見てください」「教科書の3行目に……と書いてありますね」

iv) 「話し合い」が起きる「発言の型」の例

- ・私は、〇〇と考えます。理由（わけ）は……だからです。
- ・私は、Aさんの意見に賛成（反対）です。理由は……だからです。
- ・私も、Aさんの意見に賛成（反対）です。理由は……だからです。（続けて言う場合）
- ・私も、Bさんと同じ意見です。例えば、△△が□□だったら……。 （例示と仮定を言う場合）
- ・今、言ったCさんと同じように、私は……。 （友達の意見をつなげる場合）
- ・今まで出された〇〇という意見は、つまり、……ということですね。（要約する場合）
- ・教科書の□ページを見てください。そこに、〇〇と書いてありますね。（全体に資料を提示する場合）

v) 「話し合い」における教師の役割

- ・ファシリテーター 中立的な立場で、「話し合い」を促し、話し合いのプロセスを管理。
 - ・コーディネーター 「話し合い」で出された意見をつなぎ合わせ、ねらいに導くよう管理。
- *場面・活動のねらいによって、教師の役割は異なるが、社会科の授業ではコーディネーターの方が適している。ただし、ファシリテーターのような「待ち」の姿勢で、子供の様々な意見を引き出し、価値づけ、ねらいを達成することが大切である。

(3) 【演習】資料や体験をもとにした「話し合い」活動

〈演習の題材と設定〉

- ・3年「店ではたらく人」（販売）の学習で、1回目の見学を終えた後の「話し合い」活動。

〈演習のねらい〉

- ・それぞれ1回目の見学で、「お店の工夫」を見てきたことを発表し合い、なぜそのようになっているのか、それは本当に理由になのかなどを話し合い、新たな疑問を生み出し、2回目の見学に行きたいという意欲をもたせる。

*中学年、特に3年は、「見学・調査」という体験を通じた学習が不可欠である。と同時にたいへん重要である。見学も可能であるなら、1度ではなく2度行ってもよい。

〈演習にあたっての資料〉

- ・スーパーマーケットでの様々な写真

●メモ●